

8-4-2 交通・安全専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 交通・安全専門委員会の開催

委員会開催回数：9回

(8月、12月、3月は休会)

(2) 自主研究

平成29年度は、『地方創生、道路空間のあり方に関する調査研究』を主テーマに3つのサブテーマを設定し、交通・安全に関する技術向上と新たな市場開拓に向けて実施した。3つのサブテーマは、【WG①】地方創生と道のあり方(具体例：立地適正化計画によるまちづくりへの工夫、地域公共交通の活性化による取り組み、小さな拠点づくりによる取り組み、持続可能な物流ネットワークへの取り組み、消滅可能性都市における取り組み等)、【WG②】地方創生を支援する道路空間の工夫、道路空間のオープン化及び低速モビリティを活用した地域交通システム(生活道路系)(具体例：市街地・観光地における道路空間の工夫、立体道路制度、道路占用制度、超小型モビリティ等)、【WG③】インフラ高度化、人とクルマのベストミックスに向けた道路整備(具体例：自動運転、歩車共存、TDM等)とした。

なお、本自主研究テーマは、平成29、30年度の2ヵ年でのとりまめを予定しており、平成29年度は中間段階として位置付け、平成30年度に最終成果としてとりまとめる予定である。

(3) セミナー開催

「道路空間の有効活用に関する取り組みと今後の展望」をテーマとして開催した。

- ・ 開催日：平成29年11月30日(木)
- ・ 講師①：国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室より「道路空間の有効活用に資する道路占用の取扱い等に関する主な取り組みについて」として講演を頂いた。

- ・ 講師②：(一社)蒲田東口おいしい道計画 理事 田中裕人氏より「東京都大田区さかさ川通りの取り組みについて」として講演を頂いた。

(4) フィールドワークの開催

平成29年度の自主研究テーマに関連して、先進事例の見学として、「道路空間」「地方創生」「インフラの高度利用」に関連する施設等を対象に現地視察を行った。

- ・ 開催日：平成29年9月21日(木)
- ・ 視察箇所：でんき宇奈月プロジェクト地域内、道の駅「うなづき」

(5) 最新関連情報の収集

交通・安全に関わるトピック的な事項について、今後の展開方向、建設コンサルタントとの関わりなどを議論している。平成29年度における主な内容は以下のとおりである。

- ・ ITS・自動運転の動向
- ・ 生活道路の交通安全対策の動向
- ・ 自転車施策の動向 等

(6) 外部組織への活動支援等

- a) 国交省大学 道路交通安全〔事故対策コース〕への講師派遣

2. 次年度の活動について

平成30年度の活動は、平成29年度からの継続研究(最終年)として、“地方創生、道路空間のあり方に関する調査研究”を自主研究のテーマとして活動し、最終成果としてとりまとめる。

また、研究テーマの内容に合わせてセミナー、現地見学会、フィールドワーク等を実施する予定である。

(交通・安全専門委員会委員長 福島 賢一)